

道路交通騒音評価システム

平成11年4月、新しい「騒音に係る環境基準」が施行されました。その後、騒音規制法第18条で規定される自動車騒音の状況の監視業務は、地方自治法に規定される法定受託事務となっています。

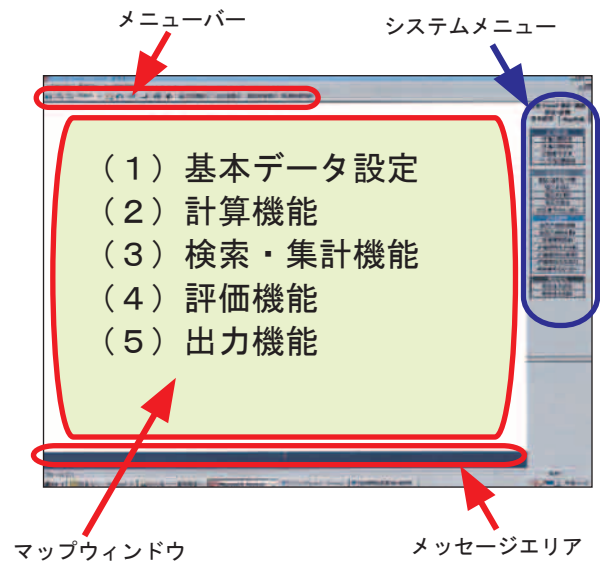
当社では、自動車騒音の状況の監視のため、効率的に道路交通騒音の面的評価を行う「道路交通騒音評価システム」を「騒音に係る環境基準の評価マニュアルⅡ 地域評価編（道路に面する地域）

平成12年4月 環境庁」に従い開発いたしました。本システムは、道路交通騒音の評価に必要な情報や、評価した結果を地図上に表示する機能を有しております。また、道路交通騒音対策の施策立案に寄与するシミュレーション機能を付加することも可能です。このため、環境保全対策、新規道路の計画等で大いに役立つシステムとなっております。

機能説明

主な機能の説明

	項目	主な機能
基礎	スケール 計測	拡大、縮小、任意の縮尺による表示・出力 距離、面積等の計算
設定	設定 編集	評価区間、街区、測定地点、建物、道路の登録 作成した図形の削除、変形、移動等が任意
計算	位置関係 パラメータ 減衰計算 推計計算	距離帯の判定、近接空間の判定 建物減衰パラメータの自動算出と画面表示 評価マニュアルに対応し適切な式を自動選択 ASJ Model 1998による道路端騒音レベル算出
検索	検索 集計	評価区間、建物、測定点の検索 計算結果、評価結果の集計機能
集計	帳票作成 データ編集	環境省報告様式対応、評価結果概要表等 集計結果のエクセル出力、エクセル取込
評価	出力結果 マップ作成 要請限度	街区、評価区間、市町村、路線単位で出力 分かりやすい色分け表示（JIS対応） 要請限度値による評価も可能



システム画面表示例

出力

①帳票

- 環境省提出様式（帳票1 帳票2 帳票3）
- 評価結果概要表

②騒音マップ

- 区間毎/街区毎/路線毎/建物毎評価結果
 - ・騒音レベル計算結果
 - ・環境基準等評価結果
- 広域路線ごと騒音状況



図 評価結果表示例